

社会資本整備審議会 道路分科会
令和3年度 第2回 四国地方小委員会
議事概要

1. 日時：令和3年12月9日（木） 10：00～11：20

2. 場所：高松サンポート合同庁舎北館 13階 災害対策室（WEB）

3. 出席者

〔委員長〕

渡邊 法美 高知工科大学経済・マネジメント学群 教授

〔委員〕 ※五十音順

倉内 慎也 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授

近藤 明子 四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授

野々村 敦子 香川大学創造工学部創造工学科 教授

畠中 智子 高知のまちづくりを考える会 代表

羽鳥 剛史 愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 准教授

山中 英生 徳島大学理工学部 社会基盤デザイン系 教授

4. 議事内容

(1) 四国地方小委員会について

(2) 計画段階評価 高知松山自動車道 いの～越知

5. 審議結果

高知松山自動車道 いの～越知の計画段階評価について、委員からの意見を事務局で検討のうえ、意見聴取を進めることを了承する。

6. 主な意見

- ・防災拠点との接続は重要であり、計画道路への接続位置の検討では十分な配慮が必要。
- ・整備後における「現道の歩行者・自転車の安全性の観点」「現道への影響や必要な改良事業」「経済・産業への影響」についても意見聴取し、検討を進めてほしい。
- ・JRに並行する区間もあることから、被災履歴等を確認し、道路計画へ反映してほしい。
- ・整備後においては国道33号の役割も変わって出てくると思うので、地域住民が希望を持てるよう意見聴取し、反映してほしい。
- ・アンケート内に記載の周辺地域の対象を明確にするとともに、一般の方にも分かりやすい表現で意見聴取してほしい。
- ・今後、設計を実施する際にはアクセスする位置によって現道への影響が多分に変わってくるので十分に意見聴取した上で検討してほしい。
- ・実際の事業期間は長くかかるので、事業期間や事業費などのリスクマネジメントをしっかりと行うとともに、地域の方に対して効果や希望を持てるよう進めてほしい。